取扱説明書
Instruction Manual

8連0.2mlチューブ用ロータ（マイクロシックス　MS-1用）

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠に有り難うございます。
本製品をより安全に、また、良好な状態でご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

⚠ 適用チューブについてのご注意

1. 本商品は8連0.2ml チューブ専用です。
   8連でないチューブ、及び写真2のように8連連結部がフタの高さと同じ位置のチューブ（例：BIOplastics　B79201等）についてはご使用になれませんのでご注意ください。適用でないチューブをご使用になられますと、チューブが破損し、試料が飛び散る場合があります。

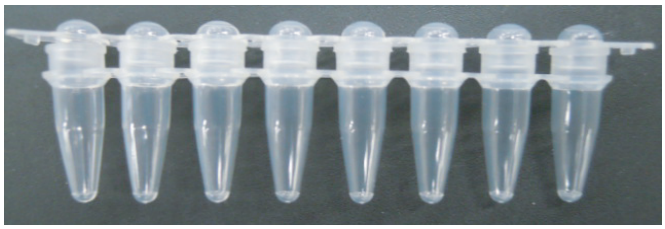


写真1．使用可能な8連0.2ml チューブ
（推奨チューブ：ビオラモPCRチューブ
品番：1-1599-03、04）

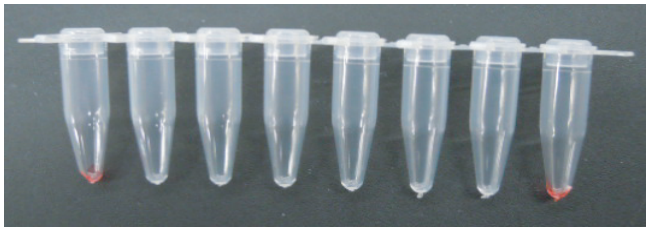


写真2．使用いただけない8連0.2ml チューブ
（例：BIOplastics　B79201等）

2. 本商品はフタの全幅が83mm以上の8連0.2ml チューブについてはご使用になれませんのでご注意ください。
   適用でないチューブをご使用になられますと、チューブのフタがはずれ、内部の試料が飛び散る場合があります。

⚠ 注意

- 本商品はマイクロシックス専用ロータです。その他の商品には取付けないでください。
- 本商品の改造はおやめください。破損し、けがをするおそれがあります。
- ご使用になる前にまず、ロータにひびや破損がないかを点検してください。

⚠ 警告：異常があった場合は即座に使用をおやめください。

■ ロータの取替え手順について

- マイクロシックスには 1.5/2.0mlチューブ用ロータが標準付属しています。ロータを取替えると、それぞれ異なる種類のチューブをスピンダウン（遠心）可能です。ロータの取り替えについては、以下の（1）～（3）のとおりに実施してください。
- ロータはネジ止めされています。破損防止のため、取替えの際にはネジを締めすぎないようにしてください。

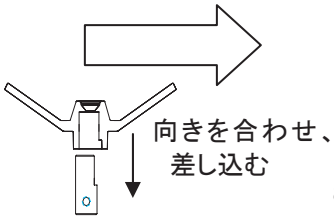
（1）マイクロシックスに取付けられているロータ中央の黒いシールをはがしてください。その後、プラスドライバーを使用してロータ中央のネジを外し、ロータを真上に持ち上げてください。ロータが外れます。中央にジョイント部品が残ります。

1.5/2.0ml チューブ用ロータ部のネジを外す

ジョイント部品

（2）8連0.2ml チューブ用ロータを、ジョイント部品の凹部をロータの凸部にあわせて、中央の穴からジョイント部品のネジ穴が見える位置まで差し込んでください。

8連0.2ml チューブ用ロータの裏側



8連0.2ml チューブ用ロータを取付ける

(3) 中央の穴にネジ止めしてください。ネジが空回りした場合、ロータが所定の位置まで差し込まれていません。その場合は一度ネジとロータを外してから、再度ロータを差し込んでネジ止めください。軽く手で回して、回転に異常がないか確認ください。これで取替えは完了です。

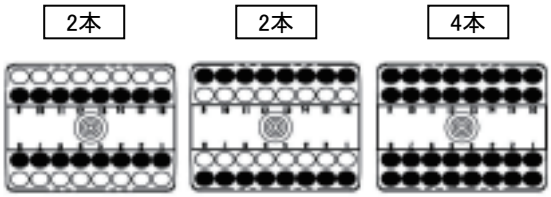
8連0.2mlチューブ用ロータをネジ止めする

■使用時の注意点

・チューブ内試料の容量は70%以下、また各チューブの容量が目分量で均等になるようにして下さい。

・チューブは下記のように対称になるようにセットしてください。

正しいチューブセット例(8連0.2mlチューブ用ロータ)



⚠ 警告：チューブを対称にセットしないと回転中に振動が発生し故障の原因となります。

・ロータ、フタ、本体に汚れや試料が付着したままにしておくと、故障や部品劣化の原因となります。
乾いたやわらかい布できれいに拭き取ってください。

⚠ 警告：本体を液体(水・アルコール等)に浸けたり丸洗いしたりしないでください。酸・アルカリや有機溶剤の本体への付着は商品の故障や破損の原因となります。

■8連0.2mlチューブ用ロータ取付け時仕様

項目	仕様
回転数	5800rpm±10%（PCRチューブ4本装着時）
遠心加速度(5800rpm時)	約950G
使用可能本数	8連0.2mlPCRチューブ×4本 ※8連0.2ml PCRチューブはフタ全幅が83mm以上、あるいは8連連結部がフタの高さと同じ位置のものは不可
使用温湿度範囲	15～40℃、80%RH以下（結露なきこと）
8連0.2mlチューブ用ロータ重量	約20g
8連0.2mlチューブ用ロータ材質	ABS

アズワン株式会社

■商品についてのお問い合わせは
カスタマー相談センター
フリーダイヤル 0120-700-875
FAX 0120-700-763
問い合わせ専用URL http://help.as-1.co.jp/q

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。

2013年11月第3版作成